

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 9048 Feb 21 2024

Copyright (C) 2024 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

お申し込み >

試読 >

◎お知らせ

○季刊誌『エネルギー通信』第19号発売のお知らせ

リム情報開発は2月20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』第19号を発行しました。今号ではJR東海の水素動力車両に関する特集記事や、脱炭素化に向けて先進的な取り組みを見せるテスHDとシナネンへのインタビュー記事を掲載。化石燃料のデータ集や分析記事に加えて、インドと米国のアンモニア事情など国際的なトピックスも取り上げており、業界の全体像を把握できること請け合いです。『エネルギー通信』第19号で、最新の動向をぜひご確認ください。

『エネルギー通信』は、WEBで閲覧いただくことができます。お申込み・お問い合わせはこちら

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter/>

エネルギー通信チーム TEL: 03-3552-2411 / Email: info@rim-intelligence.co.jp

○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は2024年2月、創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたしました。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。

定価：33,000円（税込）※送料が別途かかります。お申し込みは以下のリンクから（サンプルあり）。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/>

【お問い合わせ先】リム情報開発株式会社／電話：03-3552-2411／E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

21日のレックス22は、前日から0.76ポイント下落し171.39です

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp



東京時間2024年2月21日水曜日17時<Assessment Closing Time>

◎国内石油製品海上バーjisポット価格 (製油所・油槽所バーjis取り・円/kl)					
東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 79,500~ 80,500 +	80,000	+500	+300/+1300	
灯油	+ 79,500~ 80,500 +	80,000	+750	-400/ +600	
軽油0.001%S	+ 82,000~ 83,000 +	82,500	+500	+300/+1300	
A重油0.5%S	+ 80,100~ 81,100 +	80,600	+1,050	+800/+1800	
A重油0.1%S	+ 80,600~ 81,600 +	81,100	+1,050	+800/+1800	
C重油0.3%S	95,000~ 96,000	95,500	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	81,500~ 82,500	82,000	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	95,500~ 96,500	96,000	+0		
船舶用3.0%S重油	81,500~ 82,500	82,000	+0		
西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 79,500~ 80,500 +	80,000	+500	+300/+1300	
灯油	+ 79,500~ 80,500 +	80,000	+750	-400/ +600	
軽油0.001%S	+ 82,000~ 83,000 +	82,500	+500	+300/+1300	
A重油0.5%S	+ 80,100~ 81,100 +	80,600	+1,350	+900/+1900	
A重油0.1%S	+ 80,600~ 81,600 +	81,100	+1,350	+900/+1900	
C重油0.3%S	95,000~ 96,000	95,500	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	81,500~ 82,500	82,000	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	95,500~ 96,500	96,000	+0		
船舶用3.0%S重油	81,500~ 82,500	82,000	+0		

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース
アセスメント対象となる受渡月が翌月に移行する当月26日(休日の場合には、直後の営業日)の「前日比」については「-」とする。

◎国内石油製品ペーパースワップ価格 (国内製油所バーjis取り・円/kl)				
	2月	3月	4月	
ガソリン	+ 79,500~ 80,500 +	82,000~ 83,000	82,000~	83,000
灯油	+ 79,500~ 80,500 +	83,500~ 84,500	83,500~	84,500
軽油0.001%S	+ 82,000~ 83,000 +	83,200~ 84,200	83,000~	84,000
A重油0.5%S	+ 80,100~ 81,100 +	+ 81,000~ 82,000 +	+ 80,000~	81,000 +
A重油0.1%S	+ 80,600~ 81,600 +	+ 81,500~ 82,500 +	+ 80,500~	81,500 +
C重油0.3%S	95,000~ 96,000	- 95,900~ 96,900 -	- 94,900~	95,900 -
C重油3.0%S	81,500~ 82,500	- 82,400~ 83,400 -	- 81,400~	82,400 -

◎東京商品取引所石油先物・日中取引 (東京湾製油所・油槽所バーjis取り・円/kl)						
	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
ガソリン						
3月限	-	-	-	81,000	-	-
4月限	-	-	-	81,000	-	-
5月限	-	-	-	81,000	-	-
6月限	-	-	-	81,000	-	-
7月限	-	-	-	81,000	-	-
8月限	-	-	-	81,000	-	-
合計						-
灯油						
3月限	-	-	-	82,500	-	-
4月限	-	-	-	82,500	-	-
5月限	-	-	-	82,500	-	-
6月限	-	-	-	82,500	-	-
7月限	-	-	-	82,500	-	-
8月限	-	-	-	82,500	-	-
合計						-



軽油						
3月限	-	-	-	82,200	-	-
4月限	-	-	-	82,000	-	-
5月限	-	-	-	81,800	-	-
6月限	-	-	-	81,600	-	-
7月限	-	-	-	81,400	-	-
8月限	-	-	-	81,300	+100	-
合計						-
原油						
2月限	-	-	-	75,810	-440	-
3月限	76,570	76,750	76,470	76,700	-800	96
4月限	75,640	75,820	75,540	75,740	-860	55
5月限	74,600	74,840	74,570	74,660	-1,050	92
6月限	73,700	73,900	73,620	73,680	-1,080	369
7月限	72,880	73,070	72,770	72,840	-1,040	1,252
合計						1,864
取組高(02/20)(売): ガソリン 0 灯油 0 軽油 0 原油 48,354						
取組高(02/20)(買): ガソリン 0 灯油 0 軽油 0 原油 48,354						
1枚=50kl						

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)

ガソリン	78,750	+600	灯油	81,350	+1750
未課税軽油0.001%S	80,650	+1750	A重油0.5%S	79,950	+1700
A重油0.1%S	80,450	+1700			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)

23/11/01-30r	88,791	23/12/01-31r	83,476	24/01/01-31	77,647
23/11/01-10	88,832	23/12/01-10	86,385	24/01/01-10	77,249
23/11/11-20	88,690	23/12/11-20	83,018	24/01/11-20	78,018
23/11/21-30	88,719	23/12/21-31	81,537	24/01/21-31	77,510
r=修正値					

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)

24/2月		24/3月		24/4月	
78,620	±0	77,870	-210	78,500	-

◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ナフサ	- 665.25~ 673.75 - **	15.75/ 16.25	70,841
ジェット/灯油	- 103.10~ 103.20 -	2.20/ 2.30	101,221
軽油 0.001%S	- 103.95~ 104.05 -	0.75/ 0.85	102,433
重油 0.3%S	- 601.00~ 611.00 -	0.00/ 10.00	92,362*
重油 380cst 3.5%S	- 424.00~ 425.00 -	-6.50/ -5.50	65,612
円ドル換算レート (TTS 円/ドル 2月21日現在) 151.16 *密度0.95			
**ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値			

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ガソリン 92RON	- 94.95~ 95.15 -	-0.35/ -0.15	92,575
ジェット/灯油	- 100.30~ 100.40 -	-0.60/ -0.50	97,581
米西海岸向け軽油	- 101.50~ 101.60 -	-1.70/ -1.60	98,715
軽油 0.001%S	- 101.25~ 101.35 -	-1.95/ -1.85	98,478
重油 380cst 3.5%S	- 404.50~ 405.50 -	-26.00/ -25.00	62,094
円ドル換算レート (TTM 円/ドル 2月21日現在) 150.16 *還付金の2,800円を含む			



◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)			
	スポット価格		プレミアム
ナフサ	+ 69.50	~ 69.60	+ -1.55/-1.45
ジェット/灯油	- 101.85	~ 101.95	- 0.95/ 1.05
軽油 0.001%S	- 104.55	~ 104.65	- 1.35/ 1.45
軽油 0.05%S	- 102.45	~ 102.55	- 0.75/-0.65
重油 0.5%S	- 601.00	~ 611.00	- 0.00/10.00
重油 180cst 3.5%S	- 448.00	~ 449.00	- 3.00/-2.00

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格		
	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR (\$/mt)	- 488.50 ~ 498.50	-112.50/-102.50*
0.45%LSWR (\$/bbl)	- 74.00 ~ 74.30	

*シンガポールペーパーズワップ0.5%S重油に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパーズワップ (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)			
	3月	4月	5月
ナフサ	- 71.00 ~ 71.10	- 70.20 ~ 70.30	- 69.40 ~ 69.50
ジェット/灯油	- 100.85 ~ 100.95	- 100.25 ~ 100.35	- 99.25 ~ 99.35
ジェット/軽油格差	+ -2.35/ -2.25	+ -1.85/ -1.75	+ -1.50/ -1.40
0.001%S軽油	- 103.15 ~ 103.25	- 102.05 ~ 102.15	- 100.70 ~ 100.80
重油 0.5%S	- 600.75 ~ 601.25	- 592.50 ~ 593.00	- 584.50 ~ 585.00
180cst 3.5%S重油	- 450.75 ~ 451.25	- 452.00 ~ 452.50	+ 453.00 ~ 453.50
380cst 3.5%S重油	- 430.25 ~ 430.75	- 434.75 ~ 435.25	- 437.00 ~ 437.50

◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)			
	3月	4月	5月
ナフサ	-9.81	-10.01	-10.17
ジェット/灯油	20.04	20.04	19.68
0.001%S軽油	22.34	21.84	21.13
重油 0.5%S	11.60	10.93	10.34
180cst 3.5%S重油	-11.48	-10.68	-9.89
380cst 3.5%S重油	-14.63	-13.34	-12.35

◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)					
	380cst		VLSFO		LSMGO (日本のみLSMDO)
東京湾	527.00-530.00	0.00	685.00-688.00	0.00	826.00- 836.00 +23.00
西日本	533.00-536.00	0.00	710.00-713.00	0.00	836.00- 846.00 +23.00
伊勢湾	532.00-535.00	0.00	705.00-708.00	0.00	826.00- 836.00 +23.00
韓国	467.00-470.00	+5.00	653.00-656.00	-2.00	790.00- 800.00 -12.00
シンガポール	440.00-443.00	-7.00	635.00-638.00	-7.00	780.00- 790.00 -20.00

◎韓国出しSR船型輸入採算価格 (A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)								
荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		LSA重油	
北海道	101,143	-1,094	106,640	-2,960	107,520	-2,960	99,025	-2,953
京浜	100,478	-1,093	105,975	-2,958	106,854	-2,959	98,360	-2,952
中京	100,192	-1,093	105,689	-2,959	106,569	-2,959	98,075	-2,951
関門	99,812	-1,092	105,309	-2,958	106,188	-2,959	97,694	-2,951

※SR船型による輸入、LSA重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm

※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況(ペーパー)の3月限をベース

◎マーケットコメント
○元売り市中調達
トッパー停止数5基・計54万6,100b/d 停止率=16.9%

21日に新規の市中買いの動きは変わらず。2月渡しの市中買いはほぼ一巡したとみられる。

○ガソリン京浜・前日比500円高の79,500~80,500円 西日本・前日比500円高の79,500~80,500円
【概況】 東西ともに上昇した。ENEOSなどの実質仕切り引き上げなどを受けた。

月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは東西ともに79,200円。市況連動商談は東西ともに月間平均プラス300円~プラス1,300円となった。

【JOF市場】 午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

【東西】 東西ともにOTC市場で79,500円(200kl)の買いアイデアが提示された。民族系最大手元売りなど元売り各社が実質仕切りを大きく引き上げたことから、スポット市場の買い気が出た。

ただし、元売りの改定幅(1,600円上げ)ほど上がらず。販売不振が続いており、買いも力強さに欠けた。一部元売りは2月も一定量の余剰玉を購入したが、ショートカバーというよりは陸上市況を下支えするために必要最低限の出物を吸い上げるにとどめたようだ。引き続き買い余力を残しているようだが、売り手にとって旨味のある価格では売れなそうだという。

【在庫】 石油連盟が21日に発表した週間在庫統計によると、17日時点の全国の在庫は前年同期比9万

6,939kl(5.7%)増の180万2,295kl、東日本が同6万8,198kl(7.2%)増の101万7,562kl、西日本が同2万8,741kl(3.8%)増の78万4,733kl。

17日までの1週間の生産量は全国で前年同週比15万7,314kl(15.7%)減の84万2,829kl、東日本が同11万8,470kl(17.9%)減の54万3,636kl、西日本が同3万8,844kl(11.5%)減の29万9,193klだった。

一方、輸出量は全国が同15万5,322kl(59.9%)減の10万4,024kl、東日本が同7万4,688kl(41.8%)減の10万3,999kl、西日本が同8万634kl減の25klだ。

国内の推計出荷量は全国が同1万4,879kl(2.0%)増の77万7,629kl、東日本が同5,753kl(1.2%)増の47万7,848kl、西日本が同9,126kl(3.1%)増の29万9,781klとなった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗ガソリン	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	1,017,562	-38,211	1,428,118	-61,425	103,999	+29,097
西日本	784,733	-613	820,498	+22,584	25	-27,944

○灯油 京浜・前日比750円高の79,500～80,500円 西日本・前日比750円高の79,500～80,500円

【概況】スポット市況は京浜、西日本ともに切り上がった。元売り各社が22日以降の仕切り価格を実質1,600円引き上げたため、これを売買唱えに反映する動きが出たためだ。

月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは東西ともに79,900円。市況連動商談は東西ともに月間平均レス400円～プラス600円となった。

【成約一覧】表面化しなかった。

【JOF市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

【東西】OTC市場では東西製油所玉に対して82,000円の買い気が寄せられた。前日から500円の上昇となっており、仕切り価格の上げが反映された。大手元売りによるマーケットチェック目的の買い気が買値の背景にある。売り手からは78,000～79,000円のアイデアが寄せられた。東名阪の4製油所出し陸上スポット市場では80,000円台前半～半ばが広く提示されている。陸揚げを見越した買いを探っているもよう。プレーヤーやルートの違いから売買唱えの高安は80,000円を境に逆転して推移している。

全国的に気温が低下しているものの、海陸スポット市場では引き合いが乏しいという。2月中の元売り各社の販売進捗は前年対比8割台にとどまっており、元売り、商社の中には余剰品を抱えるケースが散見される。また、市場関係者によると

一部元売りが2月の販売枠復活に動いているという。当初、民族系の大手元売り2社は2月の出荷枠について、前年対比10%の枠削減を通告していた。しかし、足元の販売不振と需要シーズンの終わりを意識し、在庫の取り崩しにかかっているもよう。

【在庫】石油連盟が21日に発表した週間在庫統計によると、17日時点の全国の在庫は前年同期比14万1,080kl(9.7%)増の160万2,863kl、東日本が同10万261kl(9.4%)増の117万2,207kl、西日本が同4万819kl(10.5%)増の43万656klと軒並み増加している。国内の推計出荷量が全国で同11万6,862kl(31.4%)減の25万5,059klと冴えない。1週間の生産量は全国で前年同週比2万4,035kl(8.7%)減の25万801klと、元売りが精製を調整している様子がうかがえる。

在庫内訳	単位:kl	前週比	ジェット	前週比	合計	前週比
東日本	1,172,207	+7,329	400,403	+4,279	1,572,610	+11,608
西日本	430,656	-11,587	354,748	-104	785,404	-11,691
輸出内訳						
東日本	0	0	89,703	-32,814	89,703	-32,814
西日本	0	0	26,359	-11,204	26,359	-11,204

○軽油 京浜・前日比500円高の82,000～83,000円 西日本・前日比500円高の82,000～83,000円

【概況】東西上伸。元売り各社はこの日、22～28日の仕切り価格を実質的に1,600円引き上げた。これによる陸上市況の上伸を織り込み、商談水準は上振れした。

月間平均値をベースとした月間平均フラットは、東西とも81,700円。市況連動商談は東西で月間平均プラス300円～プラス1,300円。

【成約一覧】成約は浮上しなかった。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場では14時30分までにビッド、オファーが提示されなかった。時間外の成約もない。

OTC市場では前日比500円高の東西82,000円の買唱えが聞かれた。買い手は陸上市況の低迷を意識し、買い気を抑制している。この買唱えは元売り向けの商いを想定しているようだ。この他に売買唱えは浮上しなかった。一部元売りがガソリンや軽油に買い気を示す一方、需要家や商社などは買い気が薄いという。

【陸上】東名阪の製油所出し未課税玉は、80,000円付近～81,000円台半ばまで幅広い売唱えが提示。阪神の課税玉では78,000円台半ば～後半の販価が広がる。

【在庫】石油連盟が21日に発表した週間在庫統計によると、17日時点の全国の在庫は前年比19.4%増の155万2,293klだった。東日本が同

10.7%増の80万6,481kl、西日本が同30.5%増の74万5,812kl。西日本の増加について「輸出前の在庫の溜め込み」（大手ディーラー）との見方がある。

また、国内の推計出荷量は全国が同2.8%減の56万8,341kl、東日本が同2.7%増の37万6,166kl、西日本が同12%減の19万2,175klだった。自動車メーカーの工場稼働停止などで西日本の出荷量が減少し、在庫の積み上げに繋がった可能性がある。

17日までの1週間の生産量は全国で前年比11.8%減の65万4,617kl、東日本が同7.8%減の41万8,794kl、西日本が同18.1%減の23万5,823klだった。

一方、輸出量は全国が8万4,494klで同17.2%増加。内訳は東日本が同15%増の2万6,178kl、西日本が同18.2%増の5万8,316klだ。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗軽油在庫	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	806,481	+16,450	507,405	-66,541	26,178	-88,456
西日本	745,812	-14,668	322,868	-7,539	58,316	+58,316

○A重油0.5%\$京浜・前日比1,050円高の80,100~81,100円 西日本・前日比1,350円高の80,100~81,100円

【概況】東西ともに強含み。ENEOSなど主要元売り3社が21日、22~28日出荷分に適用する仕切り価格を全油種で実質1,600円引き上げたのを反映した。月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは京浜が79,300円、西日本が79,200円。市況連動商談は京浜が月間平均プラス800円~プラス1,800円、西日本が月間平均プラス900円~プラス1,900円となった。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kI

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにOTC市場では80,000円のビッドが聞かれた。同市場では81,200円のオファーも寄せられており、売買唱えが80,600円を挟んだところで乖離している。JOF市場における売買唱えはなし。2月渡し商談の終了ムードが漂っている。OTC市場では2月渡し分の残りの取引日数を勘案し、スポット市場で悴消化を図る売り手も散見。ただ、足元は「自社玉消化に追われるディーラーが多く、価格で訴求しても効果がない。値段に関係なくオーダーが来ない」(卸業者)状況という。こうした状況のなか、面の価格提示は意味がないと判断し、市場から事実上距離を置くディーラーもちらほら。スポット取引は総じて下火となっている。

【在庫】石油連盟が21日に発表した週間在庫統計によると、17日時点の全国のA重油在庫は前年同期比3,996kI (1.0%) 減の40万9,817kI、東日本が同1万2,570kI (4.7%) 増の28万838kI、西日本が同1万6,566kI (11.4%) 減の12万8,979kI。

17日までの1週間の生産量は全国で前年同週比2万267kI (14.8%) 減の11万6,771kI、東日本が同1万8,246kI (21.9%) 減の6万5,163kI、西日本が同2,021kI (3.8%) 減の5万1,608kIだった。

一方、輸出量は全国が前年同週同様にゼロだ。

国内の推計出荷量は全国が同3万5,402kI (26.0%) 減の10万522kI、東日本が同3万2,986kI (40.3%) 減の4万8,906kI、西日本が同2,416kI (4.5%) 減の5万1,616kIとなった。

在庫内訳	単位:kI	前週比	輸出	前週比
東日本	280,838	+16,257	0	0
西日本	128,979	-8	0	0

○A重油0.1%S京浜・前日比1,050円高の80,600~81,600円 西日本・前日比1,350円高の80,600~81,600円

【概況】東西ともに上昇。仕切り価格の実質引き上げを織り込んだ。月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは京浜が79,800円、西日本が79,700円。市況連動商談は京浜が月間平均プラス800円～プラス1,800円、西日本が月間平均プラス900円～プラス1,900円となっている。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値						
数量						
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにOTC市場では80,500円のビッドが伝わる。同市場では81,700円のオファーも点在。売買唱えは81,100円を挟んだ広いレンジに分布している。JOF市場における売買唱えの提示はなかった。足元は複数の製油所でトッパー停止を伴う設備不調が生じているが、A重油への海上市況に対する影響は限定的。実需が精彩を欠いており、設備不調が材料視されにくい環境にあるためだ。

【在庫】石油連盟が21日に発表した週間在庫統計によると、17日時点の全国のLSA重油在庫は前年同期比2万3,727kl (8.6%) 増の29万8,286kl、東

日本が同1万9,356kl (11.2%) 増の19万2,834kl、西日本が同4,371kl (4.3%) 増の10万5,452kl。

17日までの1週間の生産量は全国で前年同週比2万1,413kl (16.6%) 減の10万7,825kl、東日本が同7,608kl (10.5%) 減の6万5,057kl、西日本が同1万3,805kl (24.4%) 減の4万2,768klだった。

一方、輸出量は全国が前年同週同様にゼロだ。

国内の推計出荷量は全国が同2万573kl (16.3%) 減の10万5,639kl、東日本が同1万1,424kl (15.0%) 減の6万4,848kl、西日本が同9,149kl (18.3%) 減の4万791klとなった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸出	前週比
東日本	192,834	+209	0	0
西日本	105,452	+1,977	0	0

○C重油0.3%S 京浜・西日本ともに前日と同じ95,000~96,000円

【概況】東西ともに動きなし。スポット市場では目立った動きがみられなかった。

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比942円安の92,362円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	424,645	+6,962	0	0	55,439	+13,027
西日本	263,874	-3,116	0	0	17,094	-30,862

OC重油3.0%S 京浜・西日本ともに前日と同じ81,500~82,500円

【概況】東西ともにもち合い。スポット市場では目立った動きがみられなかった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	654,678	+10,224	0	0	24,764	-105,848
西日本	515,008	-8,856	0	0	17,076	+5,794

OO.5

【概況】東西ともに横ばい。内航船の荷動きの鈍さを指摘する声が聞かれた。円安の影響で外航船による輸入が減り、転送需要が落ち込んでいるというものだ。日本各地で製油所の不具合が報告されているが、需要自体がふるわないため、目立った需給の引き締め感はみられないという。

O3.0%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ81,500~82,500円

【概況】東西ともに変わらず。スポット市場では目立った動きがみられなかった。

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】京浜の180cstベースで前日比112円安の78,195円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】前日比527円安の62,094円。

○スワップ取引・東商取概況

【スワップ取引当限】ガソリンは前日から500円高の79,500~80,500円、灯油は同750円高の79,500~80,500円、軽油は同500円高の82,000~83,000円、A重油0.5%Sは同1,050円高の80,100~81,100円、A重油0.1%Sは同1,050円高の80,600~81,600円、C重油0.3%Sは同横ばいの95,000~96,000円、C重油3.0%Sは同横ばいの81,500~82,500円。

【東商取先物】当限を対象とした取引では、ガソリンが前日から横ばいの81,000円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同440円高の5,190円。灯油は同横ばいの82,500円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同440円高の6,690円。軽油は同横ばいの82,200円、クラックスプレッドは同440円高の6,390円。

◎マーケットニュース
○ENEOS=22日以降の基準価格、全油種で引き上げ

ENEOSは21日、22~28日出荷分に適用する系列向け基準価格を前週から実質1.6円引き上げると関係各社に通知した。実質引き上げは3週連続。

複数の市場関係者によると、コストベースの基準価格は前週比3.5円の上げに対し、同週支給の補助金単価は21.3円と、前週から1.9円増額されたため、結果的に実質仕切り価格は1.6円の上げとなった。前週15~21日の仕切り価格は実質0.4円の上げだった。

○出光興産=2月22日以降の仕切り価格を通知、実質引き上げ

出光興産は21日、22～28日出荷分に適用する仕切り価格を全油種でリットルあたり実質1.6円引き上げると通知した。原油コストは前週から3.5円の引き上げ。同期間の燃料油補助金は同1.9円増額の21.3円となった。この日はENEOS、コスモ石油マーケティングも22日以降の仕切り価格について、関係各社に実質1.6円の引き上げを通知している。

○コスモ石油マーケ=2月22日以降の基準価格、実質引き上げ

コスモ石油マーケティングは21日、22～28日出荷分に適用する基準価格を全油種で実質的に1.6円引き上げると、特約店に通知した。

原油コストを元に算出した基準価格は前週比3.5円の引き上げ。また燃料油補助金が21.3円と前週から1.9円増額されたため、実質的な仕切り価格は前週から1.6円の引き上げとなった。

ENEOSもこの日、同期間の仕切り価格について実質1.6円引き上げを通知した。

○貿易統計速報=原油輸入CIF価格は下落、7.7万円台に

財務省が21日に発表した貿易統計速報によると、1月の原油・粗油輸入平均CIF価格(JCC)は、キロリットル(kl)あたり77,647円で前月を5,829円下回った。前年同月比では4,311円高い。

一方、1月の通関量は前月比236万7,011kl減の1,180万1,000klとなっている。

1月下旬のJCCは77,510円で1月月分の単価を137円下回った。

○原油・石油製品供給統計週報=<石油連盟全国>

	今週 2/11～17	前週 2/4～10	前週比
製油所稼働状況			
週間原油処理量(kl)	2,655,588	2,684,279	-28,691
週間トッパー実稼働能力(b/d)	2,731,443	2,873,729	-142,286
週間トッパー実稼働率	87.4%	83.9%	3.5
週間トッパー設計能力(b/d)	3,230,400	3,230,400	0
週間トッパー設計能力稼働率	73.9%	74.7%	-0.8
石油製品週末在庫			
ガソリン	1,802,295	1,841,119	-38,824
ナフサ	1,202,555	1,335,343	-132,788
ジェット燃料油	755,151	750,976	4,175
灯油	1,602,863	1,607,121	-4,258
軽油	1,552,293	1,550,511	1,782
LSA 重油(S分0.1%以下)	298,286	296,100	2,186
HSA 重油(S分0.1%超)	409,817	393,568	16,249
A 重油計	708,103	689,668	18,435
LSC 重油(S分0.5%以下)	688,519	684,673	3,846
HSC 重油(S分0.5%超)	1,169,686	1,168,318	1,368
C 重油計	1,858,205	1,852,991	5,214
合計	9,481,465	9,627,729	-146,264



原油・半製品・装置原料週末在庫			
原油	11,174,954	10,593,422	581,532
粗ガソリン	2,248,616	2,287,457	-38,841
粗灯油	290,101	305,933	-15,832
粗軽油	830,273	904,353	-74,080
粗A重油	451,954	441,245	10,709
装置原料	2,750,605	2,758,264	-7,659
合計	6,571,549	6,697,252	-125,703
石油製品生産量			
ガソリン	842,829	928,491	-85,662
ナフサ	209,581	208,780	801
ジェット燃料油	246,068	278,674	-32,606
灯油	250,801	200,876	49,925
軽油	654,617	718,609	-63,992
LSA重油(S分0.1%以下)	107,825	120,638	-12,813
HSA重油(S分0.1%超)	116,771	128,041	-11,270
A重油計	224,596	248,679	-24,083
LSC重油(S分0.5%以下)	137,888	160,138	-22,250
HSC重油(S分0.5%超)	111,008	89,680	21,328
C重油計	248,896	249,818	-922
合計	2,677,388	2,833,927	-156,539
石油製品輸入量			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA重油(S分0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA重油(S分0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A重油計	n. a.	n. a.	-
LSC重油(S分0.5%以下)	0	0	0
HSC重油(S分0.5%超)	0	0	0
C重油計	0	0	0
合計	n. a.	n. a.	-
石油製品輸出量			
ガソリン	104,024	102,871	1,153
ナフサ	0	4,770	-4,770
ジェット燃料油	116,062	160,080	-44,018
灯油	0	0	0
軽油	84,494	114,634	-30,140
LSA重油(S分0.1%以下)	0	0	0
HSA重油(S分0.1%超)	0	0	0
A重油計	0	0	0
LSC重油(S分0.5%以下)	72,533	90,368	-17,835
HSC重油(S分0.5%超)	41,840	141,894	-100,054
C重油計	114,373	232,262	-117,889
合計	418,953	614,617	-195,664

単位：kl

「n.a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国

	2024/2/11~2/17		前週比		前年比(2/12~2/18)	
	出荷量(kl)	日量平均(kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	777,629	111,090	+0.6	+4,972	+2.0	+14,879
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	125,831	17,976	+11.0	+12,438	+103.6	+64,031
灯油	255,059	36,437	-53.1	-288,946	-31.4	-116,862
軽油	568,341	81,192	-7.5	-45,915	-2.8	-16,185
LSA 重油	105,639	15,091	-16.7	-21,223	-16.3	-20,573
HSA 重油	100,522	14,360	-15.1	-17,866	-26.0	-35,402
A 重油計	206,161	29,452	-15.9	-39,089	-21.4	-55,975
LSC 重油	61,509	8,787	+110.2	+32,244	-6.4	-4,221
HSC 重油	67,800	9,686	-12.0	-9,212	-55.4	-84,364
C 重油計	129,309	18,473	+21.7	+23,032	-40.7	-88,585
合計	2,062,330	294,619	-13.9	-333,508	-8.8	-198,697

石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない

当該週出荷=前週末製品在庫+当該週生産+当該週輸入-当該週輸出-当該週末製品在庫

◎お知らせ
○PRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2023年12月20日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>
○電力データCD・2022年度版の販売開始について

リム情報開発は、電力入札データの2022年度版CDを、7月18日から販売を開始します。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております電力入札データの2022年度版となります。最新版では、2022年4月から2023年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2022年度版は、収集件数4,165件(昨年度4,583件)で、うち比較可能なデータは956件(同3,230件)です。

※「比較可能データ」：予定供給量、契約電力、契約金額がそろった案件を集計(入札不調、入札条件が不明などの案件は除外)

関連記事
<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1749466.html>

お申込みはこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contact/form/powerData.html?2020>

**○バイオマスレポート英語版発刊のお知らせ**

リム情報開発が発行するバイオマスレポート(週刊)の英語版が好評です。日本や韓国など北東アジアでも発電燃料として需要が高まっている木質ペレットやPKSといったバイオマス燃料に関する情報を、海外のご購読者にもお届けいたします。

- 木質ペレットとPKSの東南アジア積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットの北米積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSの日本着価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSのフレートとマーケットコメント
- 日本や韓国の需要家による買付け入札情報

内容のお問い合わせ、購読のお申込みは、リム情報開発バイオマスチームへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/biomassEnglishJp/>

Tel: 03-3552-2411

Email: info@rim-intelligence.co.jp

◇弊社ウェブサイトURLは www.rim-intelligence.co.jp

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール:info@rim-intelligence.co.jp

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先: <https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/JpnJapnProductsMethodology10022017.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai--Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp



RIM INTELLIGENCE

Japan Products

3F Yaesudori Hata Bldg, 1 Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel: 81-3-3552-2411 Fax: 81-3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel: 65-6912-7359

e-mail: lim@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: guanhong@rimbj.com

[上海支社]

Tel: (86)-21-6760-6330, e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2024 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >